

## 行政視察報告

【視察場所】北海道室蘭市、岩見沢市、札幌市、余市町

【視察者】森本茂樹、土井正純、小田晃士朗 【随行】黒神千恵

### 【観光振興】

●視察日：2015/7/15 13:30～15:00

●視察先：北海道室蘭市

説明者：室蘭市経済部 観光課長 本野泰伸様

#### 1 視察内容

夜景観光推進の取り組みについて

#### 2 目的

工業・港湾都市ならではの夜景を観光資源の中心として、豊かな自然や食、ものづくり観光を組み合わせた魅力創出・発信を行い、滞在型観光を推進する。

#### 3 概要

滞在型観光の実現を図るため、平成21年3月に室蘭市観光振興計画を策定。平成21年12月には、室蘭市・室蘭観光協会・室蘭商工会議所で構成される「室蘭観光推進連絡会議」を立ち上げ、全国工場夜景都市との連携事業やツアーガイドの養成、HPの開設など夜景観光を中心にPRを行い、滞在型観光推進の取り組みを展開。民間では、平成22年に夜景ナイトクルージング、平成25年に夜景観光バスの運行が事業化され、室蘭の新たな魅力となっている。

##### (1) 取組詳細

###### <夜景取組>

白鳥大橋ライトアップ、JX日鉱日石エネルギーの集合煙突ライトアップ、計量山ライトアップ（住民4000円/日負担）、祝津風力発電所ライトアップ（1基のみ、6500万円の売電実績）etc

###### <サービス>

見学バスツアー、クルージングツアー

まち歩きマップの作成、FMびゅうでの番組制作、ロケツアーリズム（ロケ地マップ作成）

#### <成果>

外国人観光客、前年度約 2000 人増 (約 1000 人⇒約 3000 人)

#### <課題>

##### ～受入体制の整備～

- ・案内標識の増設
- ・展望台や観光施設内のバリアフリー化
- ・商店街などサービス向上
- ・人材育成 (上記サービス力、英語能力など)

#### 4 まとめ

港湾という資源を生かした取組は、ここ呉市でも活かせる可能性がある。呉には JMU、自衛隊、海保、呉港など海に面した主要施設も多く、ナイトクルージングなどの夜景観光プランは参考になる。しかし呉市では、当市の白鳥大橋のような目玉 (大きい、綺麗、高架下をくぐるような特別性) がいないため、観光客誘致には少し弱いのではないか不安は残る。

#### 【農産物消費拡大】

●視察日：2015/7/16 13:30～15:00

●視察先：北海道岩見沢市

説明者：岩見沢市議会議員 議長 笹島清一様

岩見沢市農政部農務課 課長 升元貢様

岩見沢市農政部農務課農業振興係 係長 加藤宏規様

#### 1 内 容

岩見沢市農産消費拡大推進協議会の取組について

#### 2 目 的

消費者と生産者等が「顔の見える関係」の構築に向けて、地域で生産された農作物を地域で消費する「地産地消」の取組を積極的に推進するとともに、次世代へ「食」の重要性を的確に伝達する「食育」の取組等を推進し、もって地場産物の消費拡大を図ることを目的とする。

#### 3 概 要

既存の「岩見沢市米消費拡大推進協議会」を改変し、平成18年8月に「岩見沢市農

産物消費拡大推進協議会」を設立。

※組織図は別途添付

#### (1) 取組詳細

- ・地産地消協力店事業⇒地産地消協力店 MAP の作成
- ・地場農産品消費拡大事業  
⇒キャラクター「いわみちゃん♪」の作成、各フェスティバル積極的参加。
- ・農産品付加価値向上支援事業
- ・岩見沢市アンテナショップ事業「いわみちゃん♪マルシェ」  
⇒首都圏、札幌圏にて岩見沢市の各種祭り事、観光情報やスポットなどの紹介や市内商工業者の会社情報や商品情報の紹介。
- ・農業団体等流通促進支援事業

#### <課題>

- ・鳥獣被害、環境保全を考えた農業経営の安定
- ・担い手の人材不足

#### 4 まとめ

本市は北海道で最も広い水田面積を持つ。主要資源が農業であることから、農業に対する取組意識が高い。生産環境や過程において呉市と類似する点は少ないが、アンテナショップなどの消費拡大の施策や直売店の出店補助制度(1/2、10万円補助)は取り入れるべきである。呉市でも農林水産において全国に誇る特産品があります。全国へのPRの方法、地元地域での消費拡大(道の駅案)など、考える必要性がある。

#### 【施設見学：札幌市青少年科学館】

- 視察日：2015/7/16 16：10～17：00
- 視察先：北海道札幌市

#### 1 内容

この博物間は、宇宙や科学を体験しながら学べる科学をテーマにした科学館です。宇宙冒険の疑似体験、積雪寒冷地ならではの世界発人工降雪装置や人工オーロラ発生装置など約200点の展示を有する。

最大級のプラネタリウムや巨大な衛星写真を設置するなど見学者を圧巻させる展示となっている。

本市においても、大和ミュージアムがJAXAと提携するなど宇宙科学に関連する展

示等をおこなっているが、科学に関心をもった来館者は僅かである。この博物館のように子どもから大人まで幅広い年齢層が積極的に楽しめる体験型・生涯教育の場として利用できる施設に本市のミュージアムももっと企画等に工夫する必要があると考える。

【施設見学：余市宇宙記念館】

- 視察日：2015/7/17 10:30～12:00
- 視察先：北海道余市町

1 内 容

宇宙飛行士・毛利衛さんゆかりの宇宙科学館。無重力の不思議や地球環境について毛利さんのメッセージのほか、太陽系を立体映像で探査する「3Dシアター」や四季折々の星空を案内する「デジタルプラネタリウム」、最新の宇宙開発を発信する「スペース・サイエンス・ラボ」など様々なコーナーで宇宙を身近に感じることができる。宇宙空間に完成した宇宙ステーションと日本実験棟「きぼう」。このきぼうをイメージした空間の中で、宇宙食や宇宙ベッド、宇宙トイレなど、宇宙での「衣」、「食」、「住」を感じるコーナーもある。

また地球環境問題についても触れ、パネルなどで温暖化についての説明もあり、教育の場として複合的な施設である。